

ロータリー未来の夢計画

Future Vision Plan

FVP

第2回財団FVPセミナー

2012年1月14日(土)

YMCA会館

財団FVP委員会 福家 宏

FVPとは?

Future **V**ision **P**lan

未来の夢計画

両方覚えて下さい

2660地区ではFVPです

RI第6代会長アーチ・クランプ

1917年アトランタ国際大会



「世界のためによいことをしよう」

それは26ドル50セントの
寄付から始まった

FVP 誕生への歩み①

- 1905年 ロータリークラブ創設
- 1917年 アーチ・クランフRI会長の呼びかけ
「世界で良いことをしよう」⇒基金
- 1928年 ロータリー財団誕生(RIとは別機関)
⇒基金:5000ドルに
- 1947年 ポール・ハリスの死去が契機
⇒基金の大成長
⇒初めて**国際親善奨学生派遣**

FVP 誕生への歩み②

- 1965年 MG(マッチング・グラント)が始まる
↓
35年間で1万件
- 2000年 MG請件数が10000件に達す
↓
4年間で1万件
- 2004年 MG申請件数がさらに10000件
MG1件の事務経費は1700ドル
- 2005年 RIとTRFは未来の夢計画策定開始

FVP 誕生への歩み③

(2008年 リーマン・ショック)

- 2010年 パイロット期間開始
- 2011年 **当地区** 第1回FVPセミナー開始
- 2012年 新地区補助金 **計画年度**
- 2013年 全世界でFVP実施
~~新~~地区補助金 **実施年度**

なぜ未来の夢計画なのか

- ロータリー財団の100周年に備える
- 膨大な成長
- 慈善分野で重要な存在であり続ける
- 発展していく組織
- ロータリアンからの意見
- 継続性、重要性、簡素化

未来の夢計画の目標

- プログラムと運営を簡素化すること
- グローバルな成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること
- 地元と海外、両方の活動を支援すること
- 地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること
- ロータリーの公共イメージを向上させること

ロータリー財団の標語と使命

ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

2007年4月規定審議会で承認

「使命」からの抜粋

重点分野

親善と平和

1. 平和と紛争予防・紛争解決

健康

2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康

教育

5. 基礎的教育と識字率向上

貧困の緩和

6. 経済と地域社会の発展

補助金の名称

A. 地区補助金

B. グローバル補助金

3年前の年次寄付

50%

50%

恒久基金の利息

50%

50%

DDF

WF

前年の繰越金
も加算

シェアシステムは2013年後も不変です

シェア・システム

DDF 50%
地区財団
活動資金

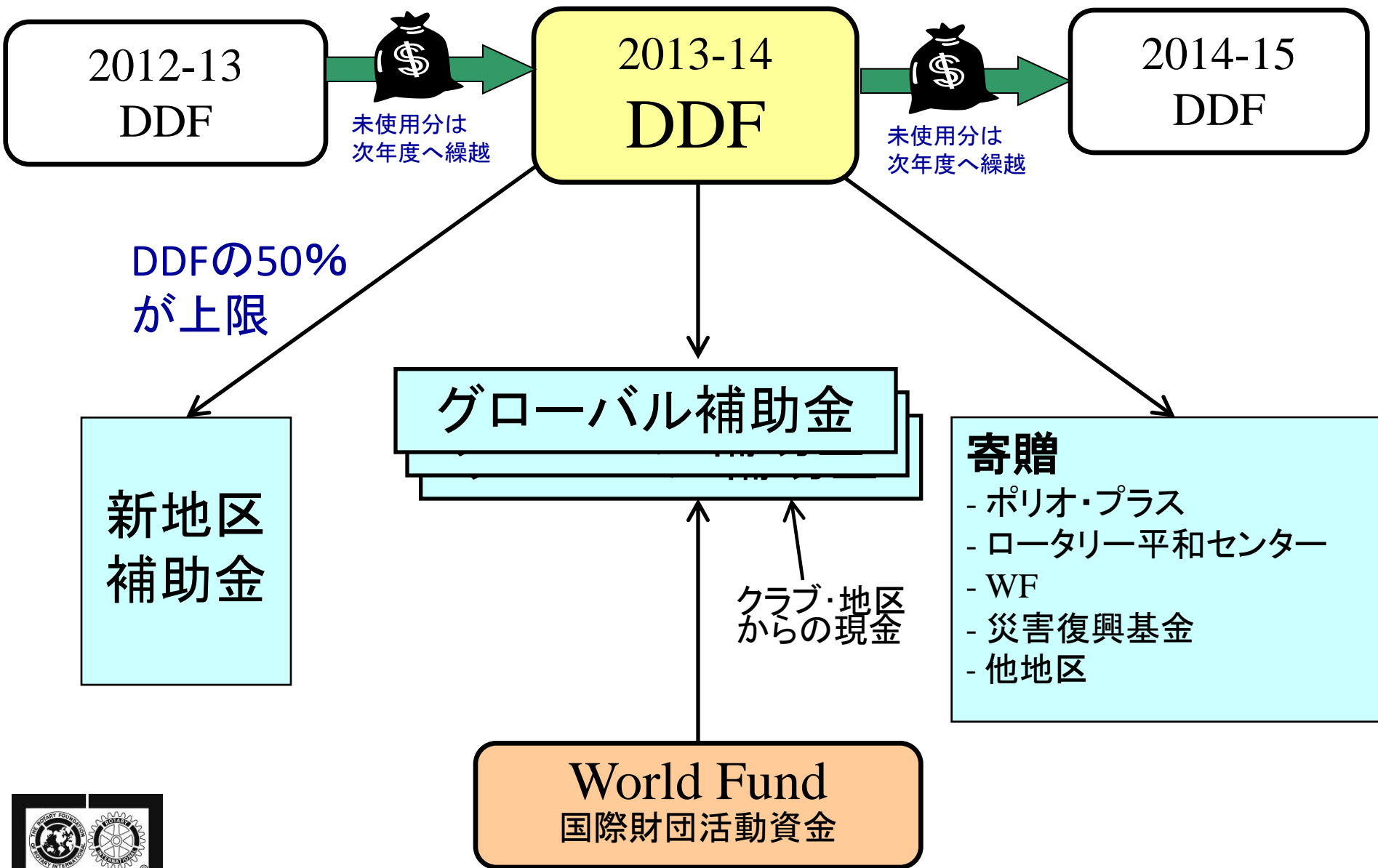
10-11年度
年次寄付
(APF-Share)
+
恒久基金収益
(PF-Share)

WF 50%
国際財団
活動資金

2013-14プログラム年度



DDFの用途(2013～)



RID2660の新地区補助金

仮に当地区がパイロット地区なら

2011-12年度DDF Starting Balance = 296,323ドル
新地区補助金の上限は50%で 148,161ドル
実際には地区補助金 50,000ドル

2012-13年度DDF Starting Balance = 238,138ドル+PF収益
新地区補助金の上限は50%で 116,069ドル+ α
実際には地区補助金 50,000ドル

2013-14年度DDF Starting Balance = 358,960ドル+PF収益
新地区補助金の上限は50%で 179,486ドル+ α
実際にこの金額となる